

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 8 月 8 日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 田 中 優 樹

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 9 月 4 日 午前 9 時 0 0 分から 令和 7 年 9 月 1 1 日 午後 4 時 3 0 分まで
開札期日 場 所	令和 7 年 9 月 1 8 日 午前 1 0 時 0 0 分 岡山地方裁判所売却場
売却決定 期日 場 所	令和 7 年 1 0 月 9 日 午前 1 0 時 0 0 分 岡山地方裁判所第3民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 3 3 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 8 月 8 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	2,526,000 2,020,800	一括	510,000	49,425	0
1	90,000				
2	828,000				
3	1,608,000				



物 件 目 録

- | | | | |
|---|-------|-----|---|
| 1 | 所 | 在 | 和気郡和気町益原字石ケ下 |
| | 地 | 番 | 1 3 9 2 番 2 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 5 0 . 7 9 平方メートル |
| 2 | 所 | 在 | 和気郡和気町益原字荒砂 |
| | 地 | 番 | 1 7 3 番 1 |
| | 地 | 目 | 宅地 |
| | 地 | 積 | 4 6 7 . 2 8 平方メートル |
| 3 | 所 | 在 | 和気郡和気町益原字荒砂 1 7 3 番地 1
和気郡和気町益原字石ケ下 1 3 9 2 番地 2 |
| | 家屋 | 番号 | 1 7 3 番 1 |
| | 種 | 類 | 居宅 |
| | 構 | 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 | 1 1 6 . 9 3 平方メートル |
| | | 2 階 | 4 6 . 5 7 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年 6月25日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 田 中 優 樹

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1, 2】

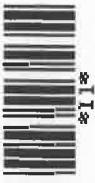
隣地（地番175番2）との境界が不明確である。

【物件番号1, 2】

売却対象外の土地（地番173番5、173番7、177番及び175番3）を
通行のため利用している。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記



載されている事実や判断も要点のみが簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。

- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 所 在 | 和気郡和気町益原字石ケ下 |
| | 地 番 | 1 3 9 2 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 5 0 . 7 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 和気郡和気町益原字荒砂 |
| | 地 番 | 1 7 3 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 4 6 7 . 2 8 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 和気郡和気町益原字荒砂 1 7 3 番地 1
和気郡和気町益原字石ケ下 1 3 9 2 番地 2 |
| | 家屋 番号 | 1 7 3 番 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 1 6 . 9 3 平方メートル
2 階 4 6 . 5 7 平方メートル |



令和7年(ヌ)第7号
令和7年2月18日受理
令和7年3月26日提出

現況調査報告書

岡山地方裁判所

執行官 石 岡 伸 治

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 所 在 | 和気郡和気町益原字石ケ下 |
| | 地 番 | 1 3 9 2 番 2 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 5 0 . 7 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 和気郡和気町益原字荒砂 |
| | 地 番 | 1 7 3 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 4 6 7 . 2 8 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 和気郡和気町益原字荒砂 1 7 3 番地 1
和気郡和気町益原字石ケ下 1 3 9 2 番地 2 |
| | 家屋 番号 | 1 7 3 番 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 1 6 . 9 3 平方メートル
2 階 4 6 . 5 7 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
土地	物件 1, 2		
現況地目	☒ 宅地(物件1,2) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項	☒ 物件1及び2の各土地は一体画地として、物件3の建物の敷地となっている(土地建物位置関係図参照)。		
建物	物件 3		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類: 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳 述 者 (当事者等との関係)	陳 述 内 容 等
■近隣者 1	物件 3 の建物（以下「本件建物」という。）は，債務者が 1 人で居住しています。
■近隣者 2	1 近隣者 1 の陳述と同旨。 2 本件建物内で，以前は，犬を一匹飼っていました。 3 物件 1 及び 2 の各土地（以下「本件各土地」という。）につき，隣接の土地との境界等について，特に争いになっているという話は聞いたことはありません。 以 上

(注) チェック項目中の調査結果は，「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 本件建物の外観及び本件各土地の状況は、写真1ないし3のとおりである。
- 2 本件建物内の状況は、写真4ないし15のとおりである。
- 3 本件各土地建物につき、債務者に対して、2度にわたって求陳述書を送付したが回答がなく、立入調査の際にも不在であったため、同人からの陳述を得ることができなかったが、立入調査した結果及び近隣者の陳述により、本件建物は債務者が居住していると認めた。
- 4 本件建物は、立入調査した結果、特に大きな損傷箇所は認められなかったが、全体的に経年による老朽化が認められた。なお、建物内はゴミ等が散乱した状態であった(写真参照)。おって、建物の増築等は認められなかった。
- 5 本件各土地の北側付近にはカーポートが、本件建物北側には下屋がそれぞれ存するが、いずれも土地に固定されているか建物と一体となっている(土地建物位置関係図参照)。なお、同カーポートは、債務者が所有する件外173番7(地目:宅地)、177番(地目:原野)及び175番3(地目:畑)の各土地を経由しなければ公道からの自動車の入庫はできない状況となっていることが認められたので注意されたい(土地建物位置関係図参照)。
- 6 本件各土地の南東付近に隣接して存する件外175番2(所有者:債務者、地目:畑、地積:35㎡)は、現況において、本件各土地との境界線が判然としない状況となっていることが認められたので注意されたい(土地建物位置関係図参照)。
- 7 その他、本件各土地建物は関係人等の陳述に沿った状況がうかがえ、第三者の占有はうかがえない。
- 8 間取り
別紙建物間取図のとおり
- 9 接面道路
本件各土地の西側が県道に接しているが段差が認められ、本件各土地への出入りは南西角付近に存するスロープを利用している(土地建物位置関係図、写真1参照)。

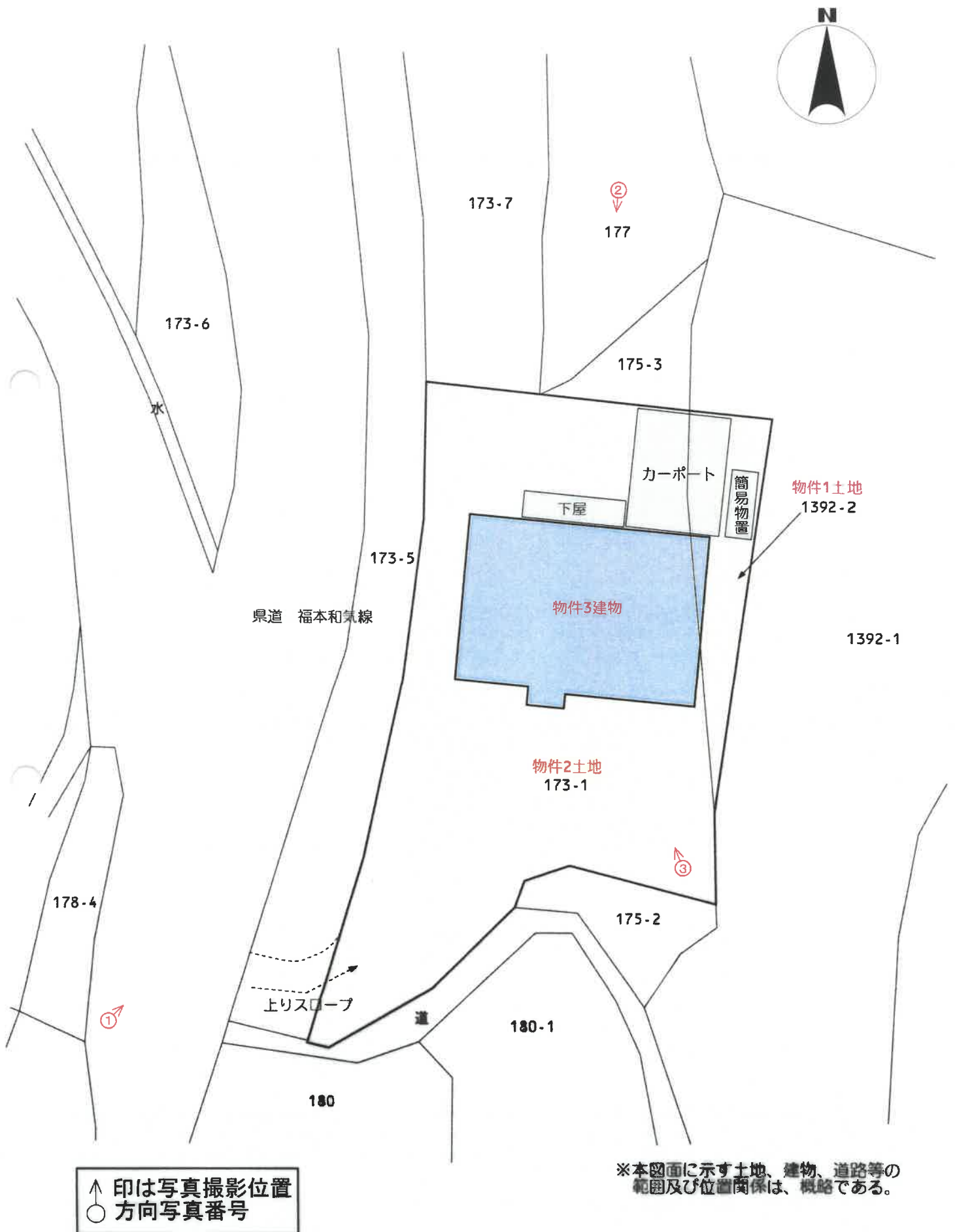
以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7 年 2 月 19 日 (水) 9 : 15 - 9 : 50	岡山地方法務局 備前支局	公図閲覧, 地積測量図, 建物図面, 登記事項要約書交付申請
7 年 2 月 19 日 (水) 10 : 30 - 11 : 00	物件所在地	物件確認, 占有調査, 形状調査, 写真撮影
7 年 2 月 19 日 (水) : - :	当庁執行官室(郵便)	債務者に対し求陳 ^ベ 切 2/28 (郵券110+110)
7 年 3 月 10 日 (月) : - :	当庁執行官室(郵便)	立入調査期日通知 3/21 15:00 再度, 求陳書同封(郵券110+110)
7 年 3 月 21 日 (金) 14 : 40 - 15 : 30	物件所在地	評価人同行, 立入調査, 占有調査, 形状調査, 写真撮影 近隣者 1, 2 から聴取
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☒ 令和 7 年 3 月 2 1 日 目的物件は施錠されていなかったが不在であったので, 立会人 B を立ち会わせ, 建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

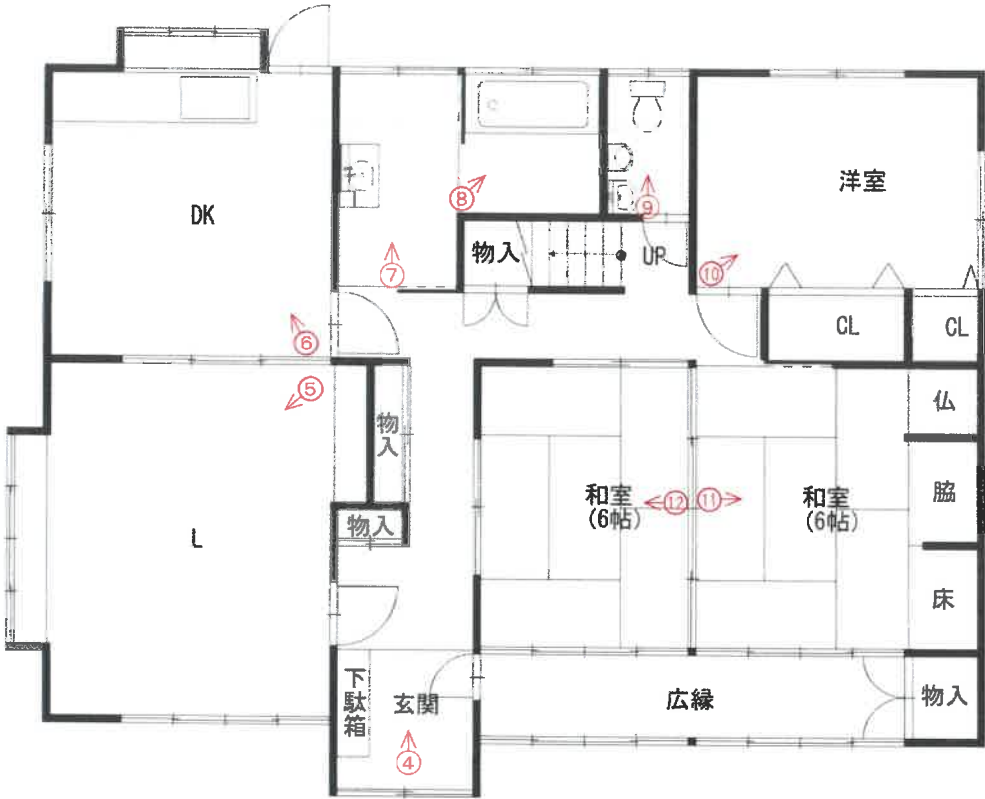
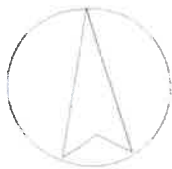
(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図



建物間取図

物件3建物



1階



2階

↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

写真 1



写真 2



写真 3



写真4



写真5



写真6



写真7



写真8



写真9



写真1 0



写真1 1



写真1 2



写真1 3



写真1 4

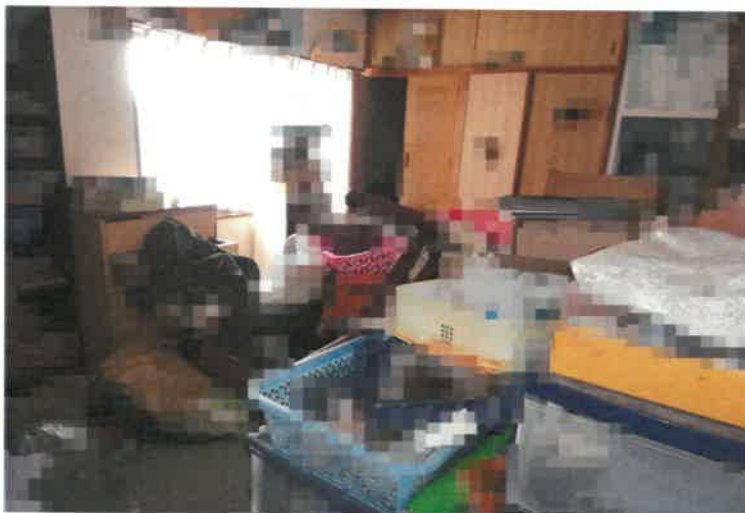


写真1 5



評 第 25-278346 号
令和 7 年 (又) 第 7 号
令和 7 年 3 月 21 日 現地調査
令和 7 年 3 月 28 日 評価

岡山地方裁判所 第 3 民事部 御中

評 価 書

評価人 山城 多賀夫

第 1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1～3)	土地 建物	金 2,526,000 円
内訳価格	1	土地	金 90,000 円
	2	土地	金 828,000 円
	3	建物	金 1,608,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法 6 1 条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 5 8 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件 番号	種類	所在等	登記	現況
1	土地	所在地 番地 目積	和気郡和気町益原字石ケ下 1392番2 宅地 50.79 m ²	概ね同左
2	土地	所在地 番地 目積	和気郡和気町益原字荒砂 173番1 宅地 467.28 m ²	概ね同左
3	建物	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	和気郡和気町益原字荒砂 173番地1 和気郡和気町益原字石ケ下 1392番地2 173番1 居宅 木造瓦葺2階建 1階： 116.93 m ² 2階： 46.57 m ² 延： 163.50 m ²	概ね同左
物件 番号	特記事項			
	特に無し			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件 一体 ）（物件1・2）

位 置・交 通	JR山陽本線 和気 駅 の 北 方直線約 3,200 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	和気町中心部から北方の山間に住宅が散在する地域	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別 的な規制を考慮しな い一般的な規制)	都市計画区分 : 非線引都市計画区域 用途地域 : 無 建 ぺ い 率 : 60 % 容 積 率 : 100 % 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : -	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 518.07 m ² 間 口 : 約 34.0 m 奥 行 : 約 17.0 m 形 状 : 不整形 接面状況 : 角地 地 勢 : ほぼ平坦	
接 面 道 路	方位 : 西側 幅 員 : 約 9.0m 舗 装 : 有 種 類 : 県道(福本和気線) 高低差 : 土地が約1.5m高い 摘 要 : 42条1項道路	南側 約 1.0m 無 里道(町道認定無し) 等高 未調査道路
土地 の 利用状況 及び隣地の状況等	一体として物件3建物の敷地として利用されている。 隣地は山林、住宅等である。	
供給 処理 施設	上 水 道 : 有 ガス配管 : 無 下 水 道 : 有	※供給処理施設における「有」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	・西側で接面する県道とは高低差があり、スロープ状の進入路が設けられているが、当該進入路は件外土地(173番5、所有者：岡山県)上に存する。 ・本件土地の北側部分にはカーポートが存在するが、当該カーポートに駐車するためには、北側で隣接する件外土地に設けられた進入路を経由する必要がある。 ・土砂災害警戒区域(土石流)に近接している。	

2 建物の概況及び利用状況等（物件 3）

区 分	主である建物
建築時期 及び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 : 昭和63年1月頃 新築(登記上) 経 過 年 数 : 37 年 経済的残存耐用年数 : 2 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : ー
仕 様	外 壁: 漆喰、羽目板等 天 井: クロス、敷目天井等 内 壁: クロス、砂壁等 床 : フローリング、畳等 その他: ー
建 物 の 品 等	中品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 「現況調査報告書」のとおり
保守管理の状態	劣っている
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	・ 築後37年を経過し、老朽化している。 ・ 室内にはごみや動産が散乱し、維持管理の状態は劣っている。 ・ 風呂、トイレ、キッチン等の水回りの汚れが著しい。

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A地域)

種 別 : 住宅地
 街路 幅員 : 約 9.0m
 地 積 : 約 500 m²
 間口・奥行 : 約25m×約20m
 形 状 : 長方形
 高 低 差 : 等高
 接面 状況 : 中間画地

地域 符号	公示価格等 (円/m ²) ア	時点 修正 イ	標準化 補 正 ウ	地域 格差 エ	規準価格等 (円/m ²) オ	標準画地価格 (円/m ²) カ
	10,800	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{101}$	$\frac{100}{152}$	7,030	7,030
A	基準地 和気(県)-3	公示価 格等の 価格時 点から 評価日 までの 推定変 動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なもの に補正し た。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定し た。	オ：ア×イ×ウ× エ	規準価格等を参考に周 辺取引事例等を検討の うえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分 割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価 補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
	7,030	0.90	1.00	518.07	0.80	2,622,000
一体 (1・2)	A 地域	形状 0.95 角地 1.00 高低差 0.95 相乗積 0.90	—	登記数量	地域との適合性・敷地との適応性等を考慮のうえ査定した。	カ：ア×イ×ウ×エ×オ

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分 割合 イ	現況延 床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
	168,000	1.00	163.50	0.0359	986,000
3	建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した標準的な建築費に比準して求めた。	—	—	耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。	オ：ア×イ×ウ×エ

2 積算価格の査定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 底地価格

物件番号	建付地価格 (円) ア	底地等割合				底地価格 (円) エ：ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等 法定地上権	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
一体 (1・2)	2,622,000	－		1.000	0.50	1,311,000
		計	－	1.00	－	1,311,000

② 土地及び底地内訳価格

物件 番号	一体画地の価格 (円) ア	各物件の面積割合 イ	各物件の内訳価格 (円) ウ：ア×イ
1	1,311,000	9.8%	128,500
2		90.2%	1,182,500

③ 土地利用権等価格

物件番号		建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合				土地利用権等 価 格 (円) エ：ア×イ×ウ
建物	土地		細符号	土地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	
3	一体	2,622,000	－	法定地上権	1.000	0.50	1,311,000
			計	－	1.000	－	1,311,000

④ 土地利用権等付建物価格

物件 番号	建物自体の価格 (円) ア	土地利用権等価格 (円) イ	土地利用権付建物価格 (円) ウ：ア＋イ
3	986,000	1,311,000	2,297,000

⑤ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件 番号	底地価格及び 土地利用権等 付建物価格 (円) ア	占有減 価修正 イ	市場性 修正率 ウ	競売市場 修正率 エ	その他 減 価 オ	積算価格 (円) カ
1	128,500	-	1.00	0.70	1.00	90,000
2	1,182,500	-	1.00	0.70	1.00	828,000
3	2,297,000	1.00	1.00	0.70	1.00	1,608,000
一括 (物件1～3)	3,608,000	-	-	-	-	2,526,000
	上記①～④参照。	必要なし	必要なし	不動産競売 市場の特殊 性等を考慮 のうえ査定 した。	必要なし	カ：ア×イ×ウ ×エ×オ

Ⅱ 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途及び個別性等から、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的でない。
従って、収益還元法を適用しなかった。

Ⅲ 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

[本頁以下余白]

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域符号 : A
番号 : 和気(県)-3
所在 : 和気郡和気町藤野字寺之前229番1外
価格 : 10,800 円/㎡
位置 : 和気駅より約2,500m (道路距離)
価格時点 : 令和6年7月1日
地積 : 375 ㎡
供給処理施設 : 水道、下水
接面街路 : 南5m町道、東側道
都市計画区分 : 非線引都市計画
用途指定等 : 無(60,100)
地域の概要 : 農家住宅が多く、小学校に近い住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 6 年度)

物件番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	253,031 円	
2	土地	2,327,954 円	
3	建物	2,878,386 円	

※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面
- 4 土地建物位置関係図

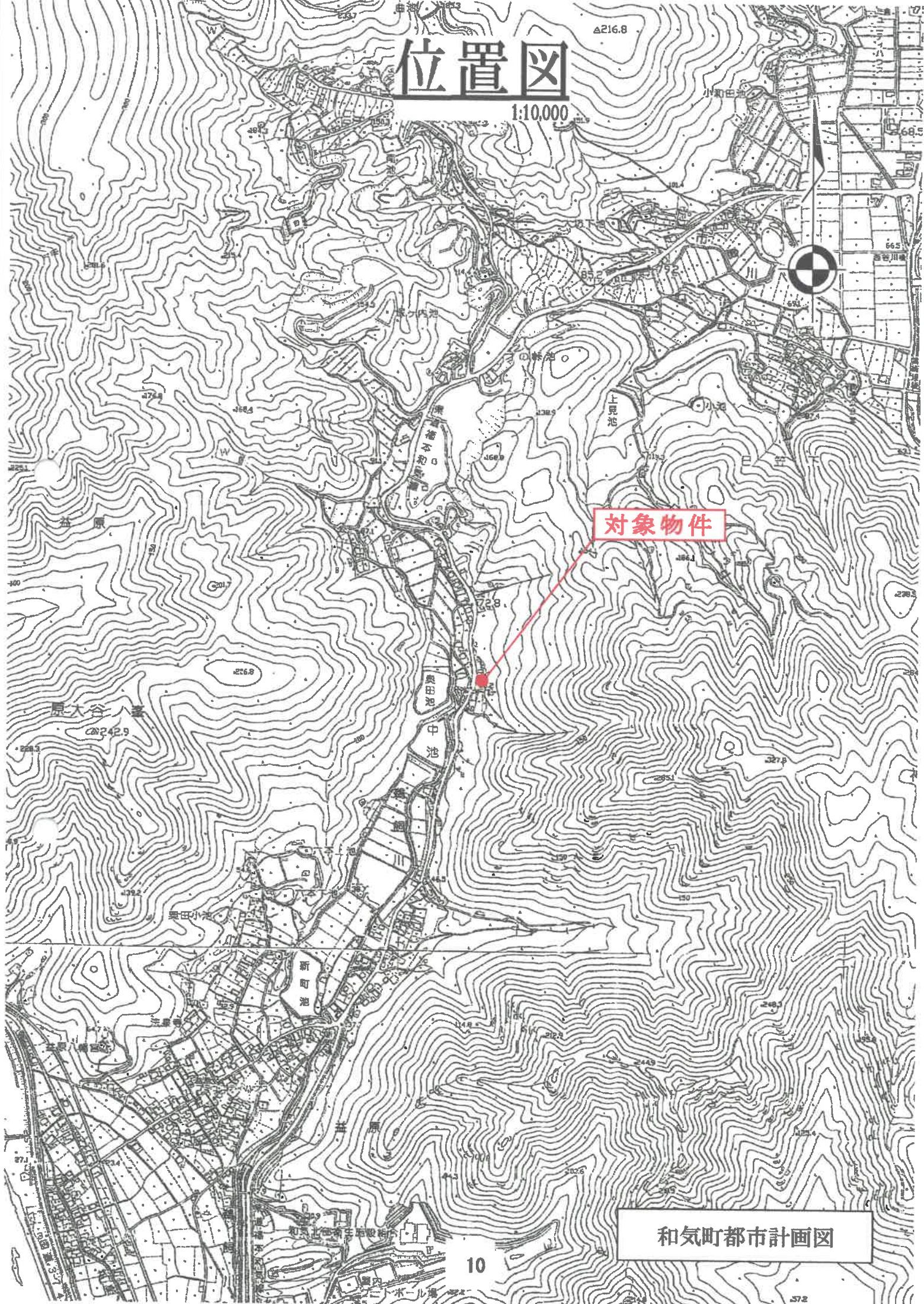
以 上

位置図

1:10,000

対象物件

和気町都市計画図



位置図

1:2,500



対象物件

奥田池

中池

岡山県南広域都市計画図

公図写

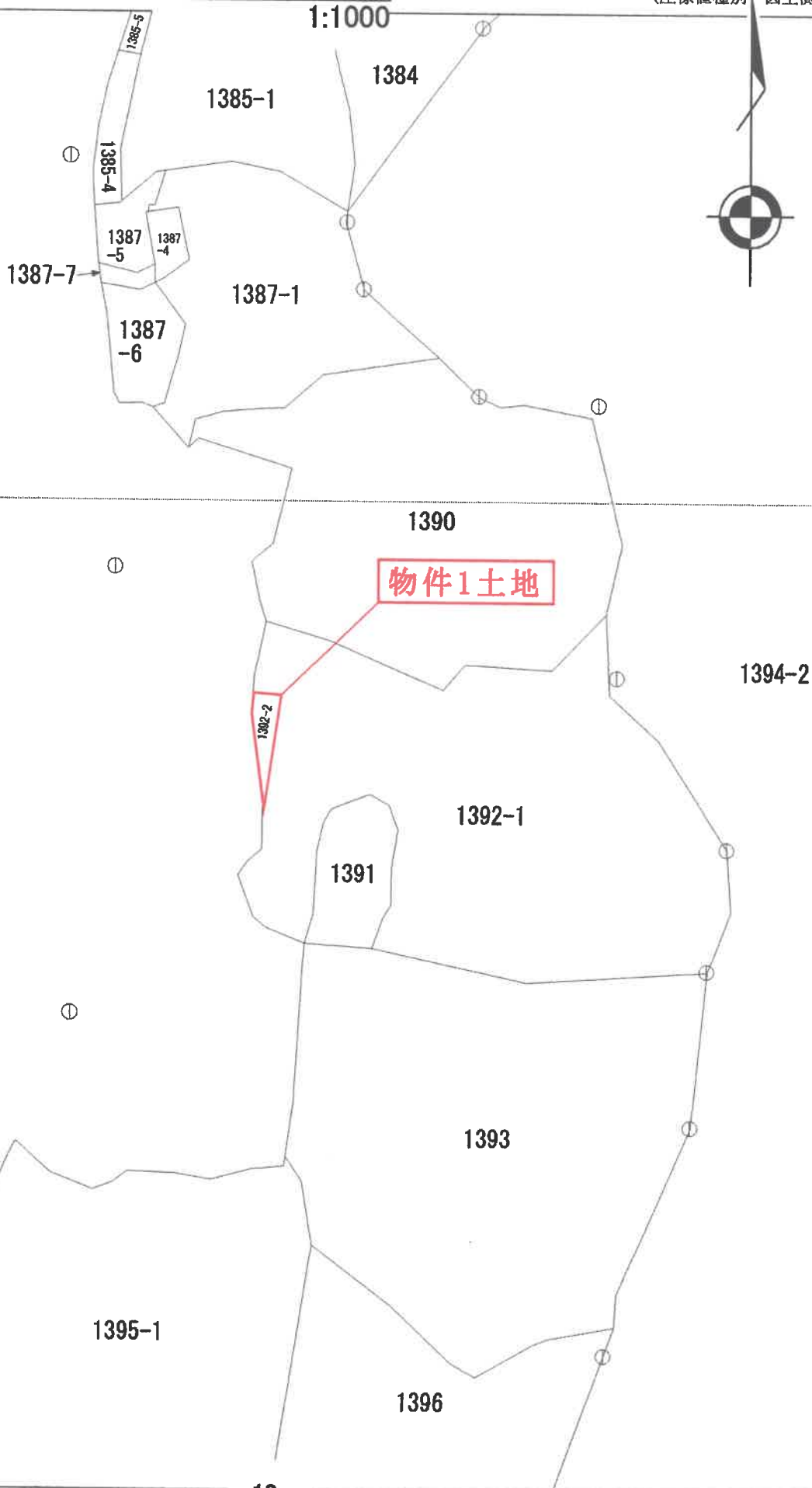
1292

(座標値種別：図上測定)

1:1000



地区外



(座標値種別：図上測定)

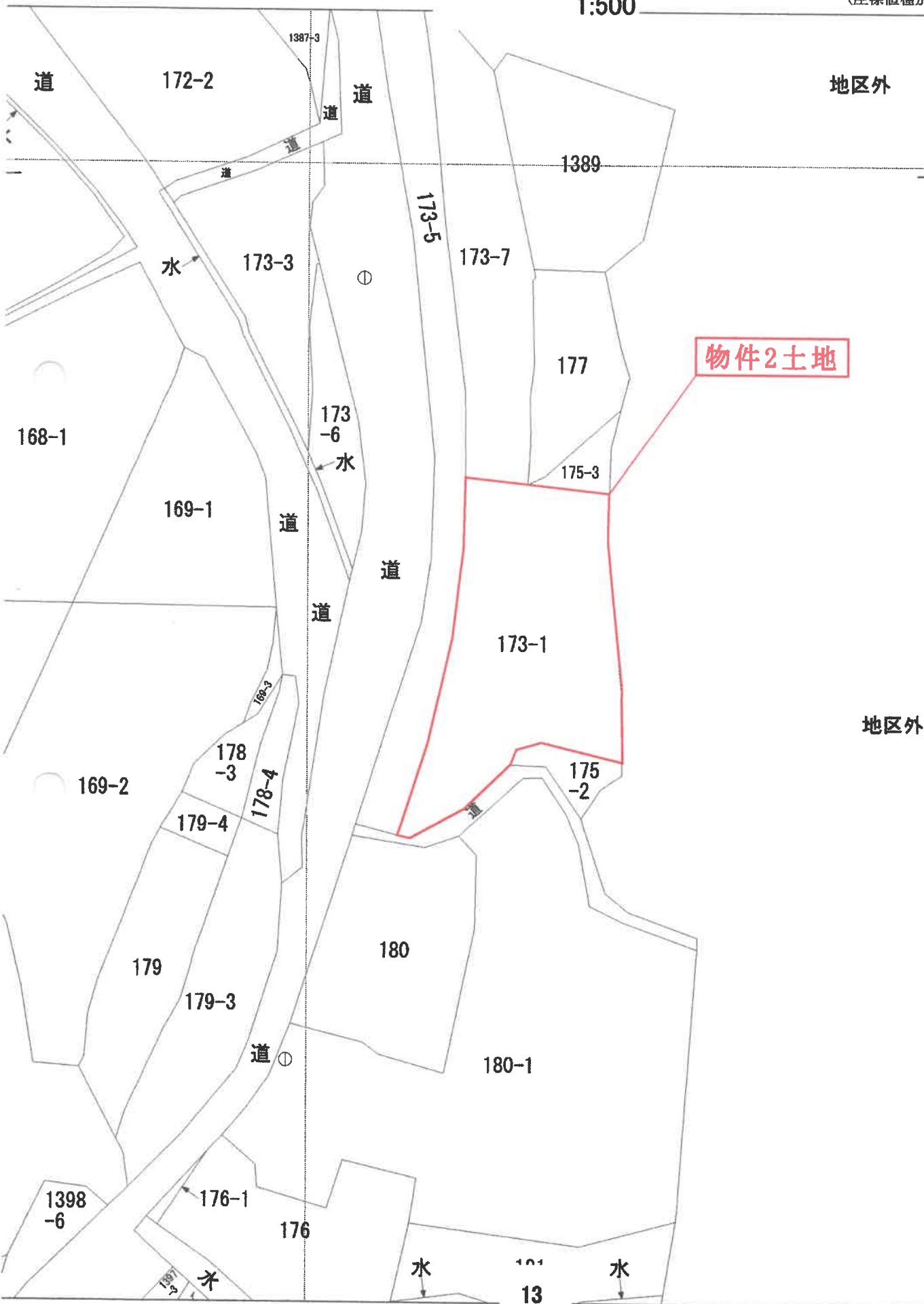
公図写

1:500

(座標値種別：図上測定)

区外

地区外



(座標値種別：図上測定)

1503924

各階平面図

173-1

建物図面
各階平面図

家屋番号

建物の所在

和気郡和気町益原字荒砂173番地1.392番地2
宇石ヶ下

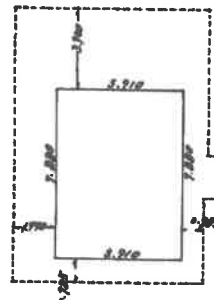
一階



一階求積

9.480 x 8.265	80.494200
0.770 x 1.970	1.516900
8.265 x 3.940	34.228100
合計	116.939200
床面積	116.93

二階

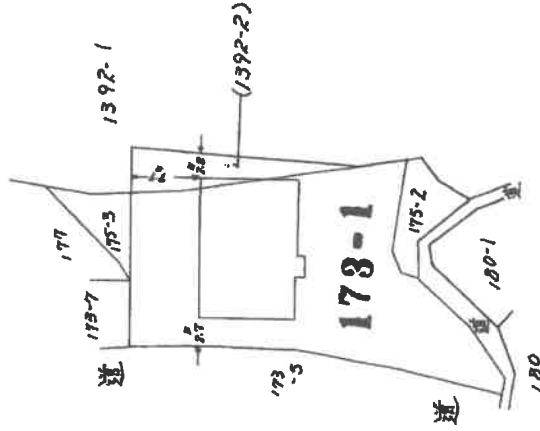
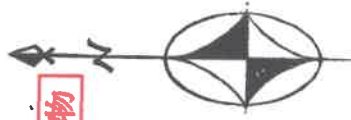


二階求積

5.910 x 7.280	46.570800
床面積	46.57

約71%に縮小

物件3建物



作製者

土地家屋調査士

(昭和63年 / 月 / 日作成)

1/250

申請人

縮尺

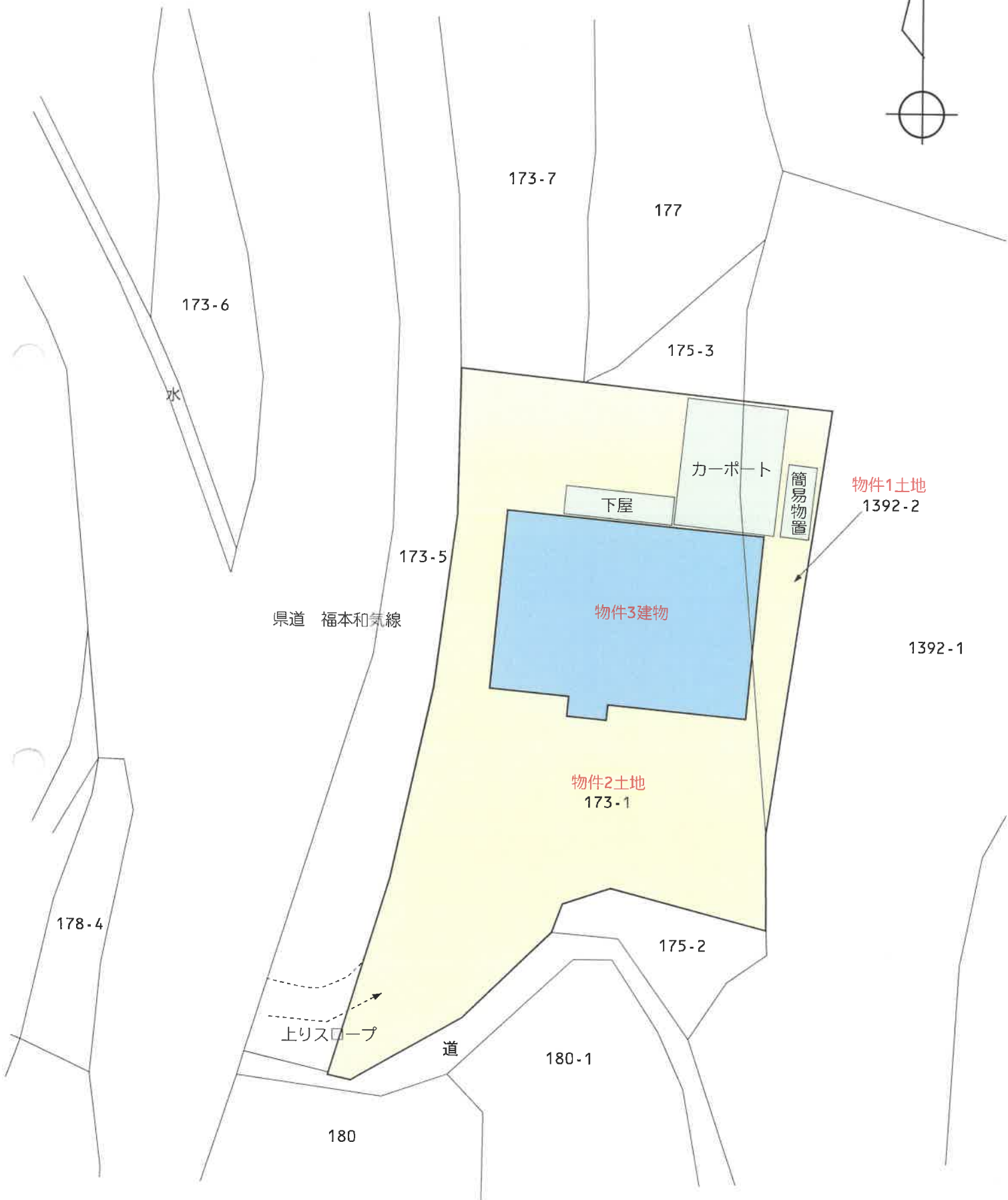
1/500

(岡山県土地家屋調査士会用品)

S63.1.18

土地建物位置関係図

S≒1/250



※本図面に示す土地、建物、道路等の範囲及び位置関係は、概略である。